

たけやが

2016.12.21
自主学童保育ささのはクラブ

今号はけん玉特集号

ただいま けんたまシーズン ますいちゆう!!

ささのはのこどもたちは今、帰ってくるなりマイ・けん玉を手にして練習しています。ほとんどの人が、指示されることなく自ら、先を争うように「けん玉やる〜!!」とやっていることにおうれしく思います。来週火曜日の大会に向けて、がんばっている様子を紹介します。

「ただいま〜」のあと、日替わりで取り組む練習は主に3種類

タイムリミット 7~10級より大皿4~6級、中皿4~6級、準初段~3級、初段以上、うらぶりけん

全員参加のクラブ対抗戦。3分間のうちに各ランに応じた7ツを何人成功できたら、を競うものです。順に並んで、次々とやっていくのですが、一度に何人やってもおいけんといひとでも失敗したら得点になりません。必ず3回まではツツかけなくてはなりません。という仕組みなので、大皿など、シビアな7ツは一度に8人くらいでやらないと、3回中、1回くらいは失敗しちゃう〜という人が多く、得点かせがたい。「ひょうま」や「うらぶりけん」など、必ずかいた7ツは成功率も低くなるので、この「タイムリミット」に

おいては、7~10級、4~6級の1~2年中心の人たちがキーマンになってくるのです。クラブ員全員で、制限時間内の得点を伸ばそう、と心をひとつにできるかどうか。この意味を、学年のみならず、わかってもらって本意をぶかえたいなー。



去年は過去最高とたたき出したささのは初優勝!! このハズレを守れるかな?



4月にけん玉にはじめてよかった1年生も、どんどん上手になってきました。タイムリミット対策として「大皿10回連続成功させね〜」と言われてみんなが輪になって取り組んでいます。3人で5回連続!! とめしても、4回目でたけやがポロリと落ちると「おい〜」「ねえ〜」。でも次は文句を言った人がポロリ。「あのせ〜」。周囲の上級生のすぐ〜い技にも見とれたしなから、「できるようになりたい」「ならなくちゃ」と、場の空気が伝わりはじめたようです。

千のせいの皿から中皿
主に2年生中心。かき頭のこのクラス、6人集まるとか8人集まるとか、悩まそう。思えば去年はちょっと大皿もやっていた人たちが、上手になりました。練習で自分だけ失敗したりすると「家で練習してくる」とけん玉もち帰る人も。こうやって、みんな上手になっていくんだね。



ひょうま・うらぶりけん
準初段や段の人たち、去年はほぼひとりで、「キャッチャー」として他のクラスからおどろかれました。これからどんどん成功率をあげていきたいです。4級の6年生、練習来いね!!

リレー

大会当日のはじめにある競技がコレ。ぶりけん、とかけん、ろうそく、それぞれ24~4しか出されません。これに加え大皿リレーは1~2年のみしか出されません。一発勝負。しかもぶたん慣れている自分のけん玉ではないので、勝負がつかず、やりにくかったりします。今、ささのはの家には各クラスに7ツ、A4~6B4~6のメンバー表が見つけ出されています。実力差でAとBを入れかえたり!? トップバッターからアンカーまで、経験や心臓の強さ(?)など考慮して順序を詰めています。(隣にするとぶたんからタマ、というところのバリエーションもあり)リレーの練習の時だけは、ピーンと張り詰めた静けさがたまたま、緊張が伝わってきます。「左の手で5つ、右の手で持ちかえてすぐやるんだよ」と言われた1年生。持ちかえて右の手を出してかまえる人のうしろに並んだ。えろからそと手を変えて教えてあげていました。1年生も集中すると2年4~6とあひやかすタイムが出れた。お互いに競いあって、実力が出せるといいですね。



個人戦

クラス	種目	タイム競技
7 5 10 級	手のせ中皿~小皿	1 手のせ中皿~小皿
	大皿	2 大皿
	小皿	3 小皿
	中皿	4 前より大皿
	前より大皿 ろうそく	5 ろうそく
4 5 6 級	前よりろうそく	1 前よりろうそく
	手ざしけん~大皿	2 手ざしけん~大皿
	とめけん	3 とめけん
	手のせ大皿~けん	4 手のせ大皿~けん
	中皿~小皿 手のせ小皿~大皿	5 中皿~小皿
準 初 段 5 3 級	手ざしけん~中皿	1 手ざしけん~中皿
	果一周	2 日本一周
	日本一周	3 ふりけん
	ふりけん	4 手のせうぐいす~けん
	手のせうぐいす~けん ひこうき	5 ひこうき
初 段 以 上	果一周~日本一周	1 前よりろうそく
	世界一周	2 果一周
	つるしとめけん	3 日本一周2回連続
	うらぶりけん	4 世界一周2回連続
	地球まわし	5 ヨーロッパ一周
	けん先すべり	6 地球回し
	とうだい	7 うぐいす~けん
	うぐいす さか落とし はねけん	8 はねけん

個人戦とは、各クラスに分かれて表の表のような種目を5回ずつ(段の部は3回ずつ)やります。6種目x5回(段は10種目x3回)で成功すると点なので30点満点となります。大会ではまず予選を行なう。上位8人が決勝に進みます。同点の場合は、表の右側にある「タイム競技」をおこなって、早くやれた技を成功させた方が勝ち、という仕組みです。級の人だと決勝進出ボーダーラインは27~28点あたり。段だと25点あたりでは3回(段は5回)くらいしか失敗できない、ということになりますね。こどもたちは、いかにすこいかに、またすこいかに4人練習しているお伝えして、紙面をさしました。みんなは毎日、この種目をやってみて、何点取れたー!! とかかんがえています。おうちでも話題にしてみてもいいね。



*お知らせ...ささのはの家の玄関に「4ツ」の表金箱(お)と置いて、1月のスポーツ大会の賞品用に、ご協力お願いします。